



隣の東屋がかわいく見えるほどです

## 連載

## 鳥川流域の巨樹・巨木 Vol.4

いおうじ  
医王寺跡の大クスノキ

## 移転した小学校のシンボルツリー

巨樹・巨木は、その地域の歴史とともに歩み、文化を育んできた地域の宝です。組合の管内にも多くの巨樹・巨木があります。管内の木々を皆さんに紹介します。

中室田町の中室田大字（おおあざ）会館の南、県道安中榛名湖線沿いに、緑の葉をいっぱいにしたたえ大きくそびえるクスノキがあります。

現在はクスノキ公園となっていますが、かつて、ここには医王寺というお寺があったことから、「医王寺跡の大クスノキ」と呼ばれています。

明治六年、この場所に麓（ふもと）小学校が開校し、その後、名称の変遷を経て、昭和五十七年に榛名町立第二小学校が隣接地に移転するまで、およそ二〇年間、小学校のシンボルツリーとして地域に親しまれてきた木です。

樹齢は二〇年以上、高さ25m、幹回り5mの堂々としたクスノキで、高崎市の指定天然記念物に指定されています。



J-クレジット制度は、再生可能エネルギーを利用することによるCO2削減量や、適切な森林管理によるCO2吸収量をクレジット（この場合、「排出権」と訳します。）として、国が認証する制度です。

このクレジットは売買することができ、企業活動によって多くのCO2を排出する企業等は、このクレジットを購入し、自らのCO2排出量と相殺することができます。

## 森林由来J-クレジット

J-クレジットのうち、森林管理に係るものを森林由来クレジットといいます。



自ら所有する、または管理し森林経営計画の認定を受けた森林については、適切な森林管理を行った際、その森林のCO2吸収量をJ-クレジットとして発行することができます。

CO2削減を進めたい企業等が必要なクレジットを購入し、森林所有者や森林組合は、クレジットの売却により、森林管理のための資金を得ることができます。

## 森林の機能が新たな価値を生む

CO2吸収という森林の機能が、木材と同様に資産としての価値を持つことになります。

すでに全国では、森林由来クレジットの取引事例も生まれています。